

<p>1 学校教育目標</p> <p>本黌建学の精神である三綱領</p> <p>正倫理 明大義 (倫理を正しうし 大義を明らかにす)</p> <p>重廉恥 振元氣 (廉恥を重んじ 元氣を振るう)</p> <p>磨知識 進文明 (知識を磨き 文明を進む)</p> <p>を根幹とし、生徒の輝く未来に向け、校長を中心とした指導体制のもと、節義を重んじ、人格や品性を高め、文武両道の気風を尊重し、一つ一つの教育活動を着実に実践し学校の活性化を目指す。生徒を育成するに当たっては</p> <p>1 他者への思いやりを大切にし、社会に貢献する生徒の育成</p> <p>2 心身ともに逞しく豊かな人間性を備えた生徒の育成</p> <p>3 志を高く持ち、自ら求めて学ぶ生徒の育成</p> <p>を目指す。</p>

<p>2 本年度の重点目標</p> <p>(1) 社会に貢献できる生徒（グローバルリーダー）の育成</p> <p>(2) 生徒指導の充実</p> <p>(3) 心身の健康の保持増進及び安全教育の徹底</p> <p>(4) 学力の向上</p> <p>(5) 進路指導の強化</p> <p>(6) S G H指定校としての取り組み推進</p>
--

3 自己評価総括表						
評価項目		評価の観点	具体的目標	具体的方策	評価	成果と課題
大項目	小項目					
学校 経営 営	建学の精神の継承	教育活動の中での三綱領の理念の実践	三綱領の精神を理解し、自らその実践に励む生徒を育成する。	・学校全体で取り組み、すべての教育活動の場で折に触れ意識させる。	B	集会等の場でことあるごとに内容に触れ、また唱和するなど、学校全体で理念を共有し、実践につなげている。
	S G H事業の推進	グローバル人材の育成	S G H事業をさらに魅力あるものに工夫する。	・企画委員会が立案し、学校全体で取り組む。	B	指定2年目で年度当初から事業を推進した。個々の事業の充実は図られたが、学校全体への波及という視点をさらに重視していきたい。
	学校の活性化	学校行事の工夫・改善	反省を生かし、取捨選択を意識して新たな内容を取り入れる。	・毎週運営委員会を実施し、十分な審議を行う。	B	昨年度以上に運営委員会を実施し、情報共有や審議を充実させたが、新規の内容とともに事業の精選をさらに進める必要がある。
	職員の資質向上	校内研修の充実	各学期複数回の校内研修を実施する。	・各部署が立案し、学校全体で取り組む。	B	SG や進路、生徒理解のため等多様な研修を立案し、全体で取り組めた。資質向上の視点を常に持ち続けねばならない。
	安全管理	施設・設備の保守・点検	危険箇所には迅速に対応する。	・報告、連絡、相談を確実にを行う。	B	台風による樹木の片付け等予算が絡むところで時間がかかった点はあるが、細かな修繕等事務部との連携で迅速な対応ができていた。

	言語活動の充実	グローバル社会をリードする人材育成のための言語活動の充実	論理的思考力、課題解決力養成のための言語活動を推進し、授業改善にもつなげる。	・各学年で読書指導を推進する。 ・各教科で言語活動の充実に取り組む。	B	SGの授業を始め英語科や国語科での言語活動は充実し、読書指導も行われている。さらに全教科にわたる活動で授業改善につなげねばならない。
学 力 向 上	基礎学力の充実	学習時間の確保	平日2時間以上の家庭学習時間を確保させる。	・家庭学習時間調査を学期に1回実施し、その結果を活用する。 ・学校全体で家庭学習時間の確保に取り組む。	B	家庭学習時間については、教科・学年での取組もあり、一定時間の確保はあった。しかし、まだ不足の状態である。個々の生徒へのきめ細やかな指導を通して、自発的な学習へ導いていく必要がある。
	わかる授業・考える授業の創造	教師の指導力の向上	生徒の学習意欲を高める指導を実践する。	・研究授業または公開授業を年4回実施する。 ・生徒による授業評価を年2回実施し、結果を改善に生かす。	B	研究授業後に教科会等での意見交換で、新課程の指導方針の確認・教材の精選が行われた。今後、生徒を予習復習を含めた自主的、自学的な学習に向かわせるような授業の工夫・改善が求められる。 考査・大学入試の問題検討を通して、教科全体の目標を一つにした指導につながった。 3年間の継続的指導につながっていくものと期待している。
キ ャ リ ア 教 育 （ 進 路 指 導 ）	生徒の進路目標の実現	生徒の進路意識高揚に向けた取組の実践	講演会、出張講義などの充実とともに丁寧な個人指導を行う。	・SGの取り組みと連携し、職業別講演会、大学説明会、出張講義を実施する。 ・的確な進路情報の提供を継続的に行う。 ・面接指導を充実する。	B	SG関係の新たな取り組みも加わる中、事前・事後指導の充実に留意し、生徒の主体性を保ったうえで実施することが出来た。それぞれの取り組みの目的や成果を再確認し精選・改善する必要がある。
		教師の教科指導力の向上	難関大入試に対応しうる教科指導力をつけ、魅力的な授業・課外を実践する。	・教科会の役割を明確にし、学年間の連携を深め、情報を共有し、指導力の向上と継承に努める。 ・校内模試の充実を図る。 ・低学年での基礎学力の充実と家庭学習時間の確保に取り組む。	B	校内模試の問題作成に関しては、各教科で時間をかけて作成・検討出来るような環境が整いつつある。 低学年時の基礎学力の定着と家庭学習時間の確保は、学校全体の共通の課題として各校務分掌や教科会、部活動顧問と連携して取り組む必要がある。
		教師の進路指導力の向上	3年間を見通した進路指導の実践力をつける。	・校内で進路についての職員研修を実施する。 ・各学年での学力検討会や進路検討会を実施する。	B	より効果的な研修のあり方を工夫したい。研修会の場だけでなく、日常の業務の中で共通理解や指導力の継承が出来るように努めたい。

生徒指導	<p>濟々とした矜持を待たせる指導</p>	<p>徳育の推進</p>	<p>「他者を思いやる心」の育成を図り、社会的倫理観を醸成する。</p>	<p>・日々の生徒への声かけや講話、通信などを通して心の育成を図っていく。</p>	<p>B</p>	<p>様々な手法を用いて心の教育を実践してきた。声かけも毎朝行った。いじめ問題は皆無ではない。</p>
		<p>基本的生活習慣と自己規律の確立</p>	<p>時間の厳守や端正な服装など基本的生活習慣を確立させる。</p>	<p>・共通理解のもとに一貫した服装・頭髪指導を継続して行なう。</p> <p>・学校全体で登下校指導に取り組む。</p>	<p>B</p>	<p>毎月の生活目標を設定し、共通認識のもと指導に当たることができた。登校指導も全職員で行った。</p>
	<p>安全教育の徹底</p>	<p>交通ルールの遵守と安全意識の高揚</p>	<p>社会のルールや規則等を遵守する指導を行うとともに防犯意識を高める取り組みを実施する。</p>	<p>・交通LHR・交通講話・実技講習会を実施する。</p> <p>・生徒交通委員会を中心に二重ロック定着のための活動を行う。</p>	<p>B</p>	<p>登校指導、交通委員の通学状況観察、講話、また、学校周辺の交通ハザードマップの教室掲示などを通して、生徒の安全意識は高まった。交通事故件数は、昨年とほぼ変わらない。</p>
人権教育の推進	<p>豊かな人権感覚を身に付けた生徒の育成</p>	<p>知識的側面からの取組</p>	<p>人権教育における学習指導の工夫改善を行う。</p>	<p>・学期毎に学年研修を実施する。</p> <p>・対外的な研修会への参加を促す。</p>	<p>B</p>	<p>職員への人権教育の研修会を年に2回実施し、人権感覚の育成に努めた。対外的な研修会も職員で交代で参加した。</p>
		<p>価値的・態度的側面からの取組</p>	<p>生徒一人一人の心の内面に働きかけるような指導を行う。</p>	<p>・個に応じた指導を充実させる。</p> <p>・生徒、保護者からの相談に誠意をもって対応する。</p> <p>・生徒理解のための職員研修を定期的に実施する。</p> <p>・人権教育推進委員会を適時開催する。</p>	<p>B</p>	<p>生徒理解のための職員研修を年に2回実施をし、全職員での生徒への共通理解を深めた。教育相談部会を定期的に行い、生徒の様子を知るために情報交換を行った。スクールカウンセラーとも連携し、生徒たちの状況を把握し、対応について検討することができた。</p>
	<p>命を大切にす心を育む指導</p>	<p>教材の精選と職員の共通理解</p>	<p>関連する教科・領域等の学習を組み合わせ、多様な指導を実施する。</p>	<p>・全学年とも成長段階に応じて計画的に指導を行う。</p> <p>・指導の振り返り（感想の集約）を随時行う。</p>	<p>B</p>	<p>「児童生徒が生活上の困難・ストレスに直面したときの対処方法を身に付けるための教育」の中のエンカウンターを研究授業として実施した。</p>
いじめの防止等	<p>いじめの未然防止</p>	<p>積極的な啓発活動の実施</p>	<p>いじめを、しない、させない、許さない姿勢を堅持させる指導を徹底する。</p>	<p>・4月にエンカウンターを実施する。</p> <p>・生徒会を中心とした啓発活動を推進する。</p> <p>・SNS情報教育講話を実施する。</p> <p>・いじめ防止対策委員会を年3回開催する。</p>	<p>B</p>	<p>熊本県いじめ防止高校生会議に本校生徒が参加し、昨年度の学校での取り組みを発表した。人権教育の講演会として弁護士によるSNSの講演会を行った。いじめ問題対策委員会を年に3回実施し、本校の状況についてスクールカウンセラーを交えて話し合うことができた。</p>
	<p>いじめへの迅速な対応</p>	<p>いじめの早期解決と再発防止</p>	<p>いじめまたはいじめを疑われる事態が発生した場合、</p>	<p>・いじめ人権アンケートを実施し、実態を把握する。</p> <p>・いじめ対策委員</p>		<p>心のアンケートは実施後、問題がある生徒については担任・学年で対応することができた。上が</p>

			被害、加害双方の生徒に速やかに対応、指導を行う。	会を開設し問題解決に尽力する。 ・被害生徒、保護者に適切な報告を行い、加害生徒には事後も指導を継続する。	B	った事例については別途調査を行い、状況の詳しい把握と対応に努めた。
健康教育	健康で安全な生活を送るための実践力の育成	生徒の心身の健康管理と傷病予防	生徒が自身の健康状態を把握し、健康で安全な生活を送れるよう指導を行う。	・保健便りを各学期1回発行し健康情報を提供する。 ・心と体の健康に関するアンケートを7月に実施し生徒の実態把握と生活指導に活かす。	B	保健委員会が工夫された保健便りを発行し保健情報を啓発できた。アンケート結果から生活習慣等の実態と課題を明確にし、生徒委員会活動や学校保健委員会で議題として取り上げ、学校全体への啓発をした。
	教育環境の整備	清掃指導の徹底と環境保全の意識や奉仕の精神の育成	毎日の清掃を生徒、職員全員で実施し、校内の環境整備を行う。	・美化委員による校内環境の整備を行う。 ・全職員による月1度の安全点検を行う。	B	美化委員によるゴミ分別の呼びかけの結果、ある程度の意識改革が見られた。安全点検後の修理・改善の要望に対して、迅速な対応ができた。
図書館教育	読書習慣の確立	読書指導の推進	情報提供や時間の設定により、生徒の読書意欲を高め、読書の習慣を身に付けさせる。	・「図書館便り」「麒麟児」「碧落」を発行し、情報提供や意欲の喚起を行う。 ・読書週間で「朝の読書」を実施する。 ・生徒図書委員会を活性化させる。	B	生徒図書委員会の新たな企画や広報活動など活発な取り組みができた。食育やSGH企画などとリンクした本の展示もでき、より親しみやすい図書館作りができた。朝読書週間の時期は前週も考慮に入れて設定したい。
	学習活動支援の充実	蔵書や設備の充実	蔵書や設備の充実を図るとともに、貸出冊数を一人10冊以上に増やす。	・図書目録を整備する。 ・LHRや授業における利用を促進させる。	B	1年生オリエンテーションの時間確保ができた効果は大きく貸し出し数が増えた。各学年・教科との連携をさらに図っていきたい。
保護者との連携	同心会（PTA）と学校の積極的な連携・協力	連携を深め、円滑な校務運営を行うための情報提供	保護者への情報提供に努め、本校教育への理解と協力を得る。	・一斉メールを活用することで学校行事等の連絡を密にする。 ・同心会HPの早めの更新と活用に努める。	B	一斉メールの配信を多くすることでアンケートの回収率等に効果が見られた。HPと会報との棲み分けを考える。HPの更新を増やす。
		PTA活動の活性化	同心会総会や学校行事等の参加者を増やし、総会（報告会を合わせて）の出席率を70%以上とする。	・同心会総会時に、議事の精選や速やかな進行を行う。 ・総会欠席者に向けて、報告会を開く。 ・各種委員会の活動を活性化し、会員の参加を促す。	B	前年度よりも速やかな進行ができた。総会の出席者が増えたために報告会の出席者は減った。総会の出席者数は前年より8.4ポイント増えて67.5%。報告会を加えると81.1%と改善された。同心会の行事の出席者は増加傾向にある。

4 学校関係者評価

1 自己評価について

・建学の精神である三綱領を根幹として、校長先生を中心に先生方が一致団結して着実に学校運営、教育活動しておられるのに好感が持てる。生徒・保護者アンケートの、「本校生徒は、自ら進んで挨拶をする」の両者の差が埋まればもっと良い、そのためには継続して指導していただくしかないと思う。

・挨拶の必要性は、職に就いてから身にしみるもの。基本は家庭教育だと思うが、企業等から講師を呼んで必要性を説くと、少しは変わるかもしれない。

・読書に関しては、本を読む大切さや役に立つことは話さないといけないが、高校生の忙しい現状を考えると自主性に任せる面があって良いと思う。あまり学校が責任を背負い込みすぎないという視点も必要だろう。

・熱心な指導に感心している。SGHの成果は大学、その卒業後も生かせると思う。基礎学力と同時に何事もしっかり掘り下げて思考できる力が必要。その意味でSGの取組は効果的で、その際、基礎学力がどういう力をつける基となっているか意識させることができれば効果的だ。

・校長先生始め一丸となり三綱領の精神に基づいて生徒の健康・安全、そして豊かな学びの定着に向け、努力なさっていることに感銘を受けた。中でも人と関わる力や互いに信頼し合う心が育まれていることは、多くの行事等を通じて感じている。生きる力の基礎となるこうした力の育成に地域に住む一人としてお役に立てればと考える。今後も文武両道を貫き、グローバル人材育成に向け充実して行かれることを期待する。

・いろいろな側面から生徒を伸ばすことを考えておられることがよくわかった。SGH事業も是非様子を見てみたい。言語活動の充実は、難しいと思うが、先生方の頑張って工夫せねばという意識があるので時間がかかるかもしれないが反映されていくと思う。

・アンケート結果が生徒、保護者共に、一年次より三年次が点数が高くなる。これは毎年の傾向であり、如何に充実した三年間を送ってきたかの表れである。確実に、精神面で逞しく成長している事が自覚出来たのであろう。また、保護者も同じ様に感じていると言えよう。

・先生方は、頭が下がるほど一生懸命に子供達を指導されている。同じ高校生くらいのお子様がいらっしゃる先生方も多かろうが、濟々覺の子供達に情熱をささげ指導されている姿を何度も見てきた。濟々覺が名門校と呼ばれるのは、今現在、学校に居る生徒と教師の熱意と努力からであり、保護者の力でも、OBの力でもない。

・毎月一回、警察と合同で下通りアーケード内をパトロールしているが、制服を着崩した濟々覺生は見かけない。また、アーケード内の自転車乗り入れも見かけなくなった。そもそも街中を徘徊している濟々覺生を見かけなくなった。定期テストの最終日くらいにちらほら見かける程度である。

2 次年度への課題・改善への方向について

・職員自己評価で「基本的生活習慣と自己規律の確立」のC・Dが10%を超えている。10%未満となるよう期待する。

・1年生で成績がやや二極化しているということだが、高校入学が目的化している生徒もいるのではないかと。将来を見据えた進路指導が重要となってくる。

・考えさせる授業の実践を期待する。

・3年間の授業内容を早めに終了させる等の対応をお願いしたい。

・講座別や習熟度別等クラスにとらわれない柔軟な対応で学力を伸ばして欲しい。

・自転車通学者の安全が課題。黒髪、桜山地区は四十年前から道路事情が変わっていない。濟々覺に向かう道はいつでも狭く交通量も多い。交通指導を徹底させたい。また、現在年三回行っている生活安全委員会の交通指導は、次年度から回数を増やしたい。生活安全委員の保護者だけに負担を強いるわけにはいかないので、他の役員、役員以外の保護者とも連携を深め、回数増を提案するつもりである。

5 総合評価

職員による4段階の評価に基づいて示した各評価項目に対する評価結果は、全てB(3点)であり、全体的にはおおむね達成できていると判断できる。ただ、細かく少数点まで比較すると、「生徒の進路意識の高揚」「いじめへの迅速な対応」「生徒の健康管理・安全管理」「保護者との連携」が3.3とポイントが高く、「言語活動の充実」が2.8とポイントが低い。言語活動については、職員の意識はあるものの、自らの授業を顧みてまだまだ充実させねばならないという反省から低めの点となったとみている。また、2年目を迎えた「SGH事業の推進」や「学校の活性化」も2.9と低めの数値となった。事業の充実を図ってきたが、学校全体での取り組みという点で、工夫の余地がある、という数字である。重点目標のひとつでもあり、更なる取組や働きかけを考えていかねばならない。

また「基礎学力の充実」も2.9だが、昨年度より0.2ポイント上昇し、家庭学習時間もやや伸びている。「清掃指導」も同じ2.9だが、昨年比マイナス0.2ポイントで、更なる指導の徹底を促す数値となっている。

6 次年度への課題・改善方策

SGH事業2年目を迎え、学校設定科目等も含め独自の教育課程およびコースを設定して4月からスタートさせ、様々な事業に取り組んできた。このことは外部からも高い評価を受けているが、次年度はさらに、学校全体としての取組を工夫していかねばならない。このことが、授業改善や学力向上、進路実績、さらには社会に貢献できるグローバルリーダーの育成につながる要素を含んでいると言える。そのためにも日々の授業において、言語活動の充実やアクティブ・ラーニング等の工夫により、新形態の大学入試にも対応できる学力を身につけさせ、一方で基礎学力を補償し、人間性を磨くための挨拶や清掃活動など、足下の学習指導、生徒指導を徹底していかねばならない。これまで培ってきた本校の進路指導や生徒指導の体制を再確認し、職員全体で当事者意識を持ってこれらの教育活動を推進していくことを、改善の方策としたい。